

Social Impact Day 2017



事例発表／インパクト評価の実践

NPO法人マドレボニータ

太田智子

「産後」が起点となる社会問題の解決

産後の【三大危機】

- ①産後うつ ②乳児虐待 ③産後の夫婦不和

⇒産後の女性の活躍へのブレーキ

「産後」の心と体のダメージ

「産後ケア」の
啓発

「産後ケア
プログラム」の提供

① 評価事業を決める

マドレボニータの「産後ケア教室」



1. 有酸素運動



2. 対話



3. セルフケア

- 産後2～6ヶ月の1ヶ月間に4回通う
- 昨年度はのべ2,582名が受講
- 参加者の約7割が復職予定

②評価目的を決める

産休/育休
からの
「復職」

「産後ケア教室」を受講することで、
受講直後/復職まで/復職後に良い状態、
変化が起きていることを明らかにする

③主たるステークホルダーを決める

仕事をもつ産前・産後
の女性とパートナー



産育休中や復職後の女性
社員を雇用している企業



ロジックモデルをつくる

	初期 受講前後	中間① 産育休終了まで	中間② 復職後（現在）
体のケア	産後のダメージの解消	心身のセルフマネジメント力獲得	変化や試練を支えるための体力が備わる
心のケア	「産後うつの一歩手前」感の解消 「虐待予備軍」感(育児への極度なイライラ感)解消	LIVE YOUR LIFE志向になる 人に委ねる・委ねられる力の獲得	変化や試練を支えるための精神力が備わる 相互扶助力の向上
社会とのつながりを取り戻す	密室育児状態の解消 社会と再びつながることへの意欲が湧く	復職に向けてのマインドセットができる よりよい復職のための自発的な準備に取り組める	就業の継続 生産性の向上 前向きなキャリア観醸成 職場以外のコミュニティでも力を発揮
パートナーシップを見直す	「産後クライシス」の解消・予防	パートナーシップの向上 2人で復職に向けての環境整備と家事・育児シェアに取り組める	パートナーとの協力体制確立 次の妊娠・出産に意欲的

検証するためのデータを収集する

WEBアンケート（最大61問）

既に復職した方に

受講後/復職まで/復職後(現在)に生じた変化を尋ねる



産後ケア教室を
受講した人
538名



産後ケア教室を
受講しなかった人
351名

評価結果の報告

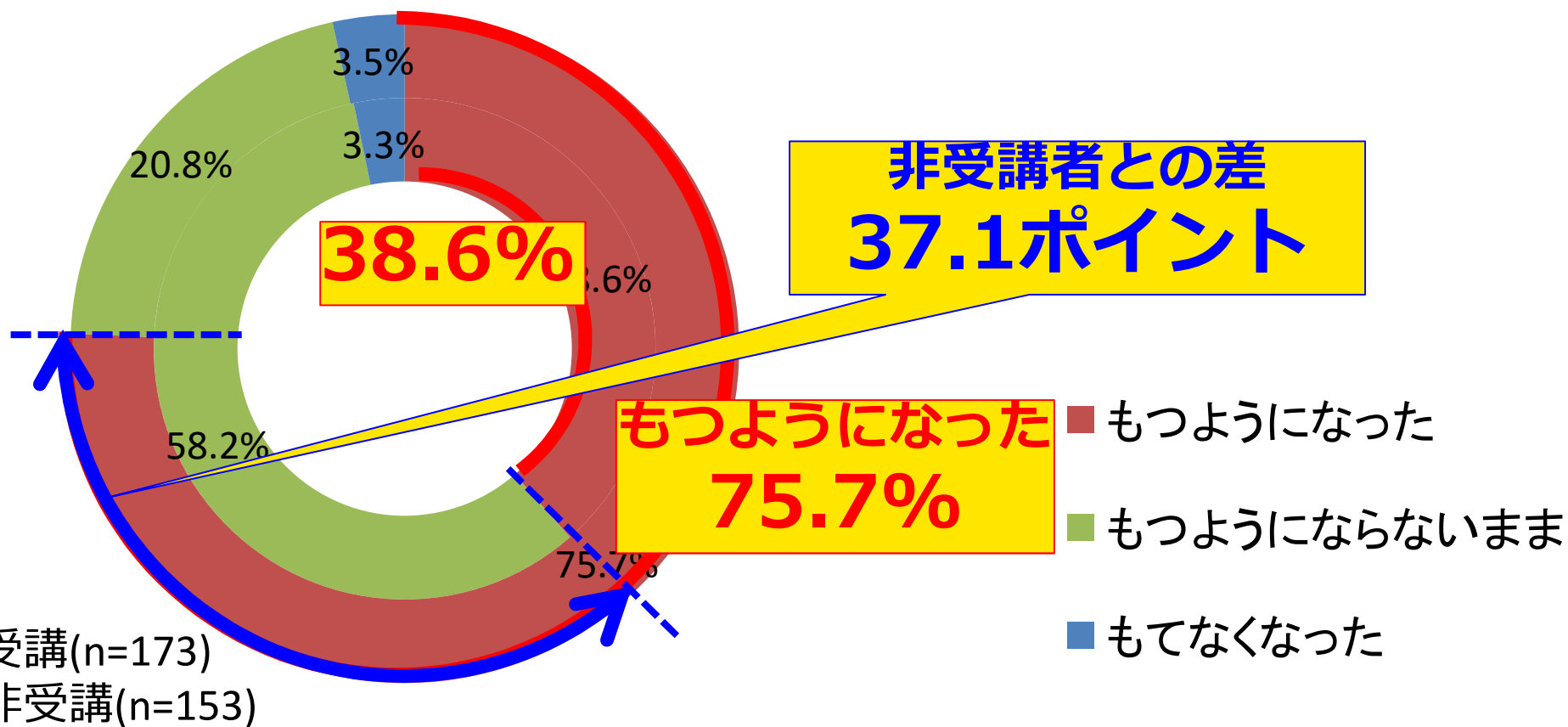
ロジックモデルに 挙げた項目の大半で

- 期待された良い変化がみられた
- 非受講者に起きた変化の度合いとの有意差が確認できた
(38項目中32項目)

ロジックモデル (評価指標入り)

活動	受益者に提供するサービス	『社会・環境』の変化 (社会的インパクト)			(長期) 期待される社会的価値
		初期 教室受講前後	中間① 教室受講後～復職まで	中間② 復職後	
産後ケア教室の実施 ・「有酸素運動」 「シェアリング」 「セルフケア」の三本柱 ・1ヶ月間：120分×4回 ・産後2-6ヶ月の受講を推奨 ・受講料平均14,000円	産後のリハビリの機会	産後の三大危機回避 (マイナスからゼロ)	復職に向けてのエンパワメント (ゼロからプラス)	意欲もパフォーマンスも高く家庭と仕事を両立	産後うつ予防 乳児虐待予防 医療費削減 優秀な人材獲得 復職後も意欲もパフォーマンスも高い人材の確保 復職後の離職率改善 働き方改革推進 女性活躍推進 第三の場で活躍する人材増 少子化改善 産後の離婚減少
	体のケアの機会 ★有酸素運動 ★セルフケア ☆赤ちゃんとの外出	1-1:産後のダメージ解消 (体の痛み) 85.9% /63.1% *** 84.7%/64.2% *** 60.5%/64.4% (マイナートラブル)	2-1:心身のセルフマネジメント力獲得 92.0% /60.6% *** (日常的なセルフケア習慣) 59.4% /29.3% *** (体を動かす機会)	3-1:変化や試練を支えるための体力が備わる 65.1% /46.3% ***	
	心のケアの機会 ★シェアリング ☆赤ちゃんとの外出 ☆仲間づくり ☆自分の時間	1-2:「産後うつ」の一手前 感の解消 53.6% /42.8% ** 1-3:「虐待予備軍」感 (育児への過度なイライラ感) 解消 44.3% /23.5% *** (過度なイライラ・不安感) 25.3% /13.2% *** (虐待してしまわ/しないが不安をおぼえる)	2-2:LIVE YOUR LIFE 志向へ 82.8% /50.5% *** (自分を好ましく感じる) 79.7% /53.9% *** (自分らしく生きている) 86.2% /61.9% *** (子育て以外にも生きがい) 79.7% /61.9% *** (子に母以外の役割での生き様も見せたい)	3-2:変化や試練を支えるための精神力が備わる 86.8% /75.3% ** 3-3:相互協力力の向上 (ひとりで抱え込まない⇒結果実現できることが広がる) 75.2% /62.5% *	
社会とのつながりを取り戻す ★シェアリング ☆赤ちゃんとの外出 ☆仲間づくり ☆自分の時間	1-4:密室育児状態の解消 45.1% /44.9% 1-5:社会と再びつながることへの意欲が高くなる 75.7% /38.6% *** (復職への前向きな気持ち) 77.4% /64.9% *** (社会とのつながり)	2-4:復職に向けてのマインドセットができる 92.0% /75.1% *** (復職への気持ちの準備) 77.3% /52.6% *** (育児中に自分の価値を高めよう) 2-5:よりよい復職のための自発的な準備に取り組む (自分で自己啓発) 46.1% /30.6% *** 31.8% /24.6% * (職場再訪を自ら希望) 22.1% /11.7% *** (ボランティア活動企画運営)	3-4:復職先での就業の継続 87.8% /87.8% 3-5:生産性の向上 75.4% /66.4% *** (業務量を減るも質上がる) 117.0 /109.4 (時間当たり仕事の生産性) 3-6:前向きなキャリア観醸成 78.6% /71.7% * (高キャリア志向) (6.2%) /13.6% * ぶら下がり志向※) 3-7:職場以外のコミュニティでも力を発揮 22.7% /15.6% * (NPOでの活動)		
パートナーシップを見直す機会 ★シェアリング ☆パートナーとのコミュニケーション	1-6:「産後クライシス」の解消 58.8% /19.2% *** (パートナーを本当に愛していると実感) 19.3% /14.6% * (会話時間増) 84.1% (気持ちや意志を伝えられる)	2-6:パートナーシップの向上 77.9% /53.2% * (人生や仕事についての話をする) 87.9% /82.6% (自分の時間作り) にパートナーが協力) 2-7:2人で復職に向けての環境整備と家事・育児シェアに取り組める 70.9% /56.0% ***	3-8:パートナーとの協力体制確立 87.0% /79.5% ** 3-9:次の妊娠・出産に意欲的 48.8% /54.5% (妊娠出産済+意欲的でパートナーと話し合っている+意向定まらずもパートナーと話し合っている)		
		満足いく育児期間を過ごせた 92.2% /83.5% ***	出産から1年以内に復職 52.2% /46.6% *		
	教室受講の寄与率→	63.3%	63.4%	57.6%	

Q/「復職」に向けての前向きな気持ちをもつようになりましたか？



総括

初期／教室受講前後

解決

出産後に直面する喫緊の課題を解決

中間①／復職まで

変容

復職に向けての土台が作られる

中間②／復職後

応用

復職後も使える応用可能な力となる


各時期に抱える課題が解決されることで社会復帰に向けての意欲と応用可能な力を獲得し、必要なアクションがとれるようになる

産後の心身のリハビリは「母子保健」・「女性活躍推進」双方にインパクトをもたらす

評価の活用

プレスリリース

NEWS RELEASE



特定非営利活動(NPO)法人 マドレボニータ

報道関係者各位

2017年4月19日
特定非営利活動法人マドレボニータ

育休中の「取り組む産後ケア」が「よりよい復職」に必要な力をもたらす～マドレボニータ「産後ケア教室」の受講者と非受講者の比較で有意差～

産前・産後のヘルスケアプログラムの研究、開発、普及に取り組むNPO法人マドレボニータ(代表 吉岡マコ)は、内閣府委託調査「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」にて実施した「産後ケア教室(4回コース)」の評価結果を発表、インパクトレポートが公表されました。評価結果を受けて、復職支援の有効な施策として法人向けのプログラム提供をさらに推進してまいります。

「産後ケア教室」の受講者は、非受講者と比べて「復職」に向けての前向きな気持ちをもつようになった」が約2倍、「パートナーを本当に愛していると実感するようになった」が約3倍多い

今回の評価では2016年12月から2017年1月にかけて、育休を経ての復職経験者へのWEBアンケート調査(受講者538名、非受講者351名)とヒアリング(受講者4名とマドレボニータの法人プログラム導入企業2社)を行いました。※「産後ケア教室」と「法人プログラム」については3頁をご参照ください


受講者で良い変化が起きた人の比率を非受講者と比較したところ、38項目中36項目で受講後/復職まで/復職後の各時点で復職に良い影響をもたらす変化をした比率が上回り、32項目で統計的有意差がみられました。

評価項目の一例 ※全項目の結果は公表された「インパクトレポート」でご覧いただけます。

- 受講後
 - ・育児への極度なイライラ感や不安感が解消した：44.3% (非受講者23.5%)
 - ・パートナーを「本当に愛している」と実感するようになった：58.8% (同19.2%)
 - ・「復職」に向けての前向きな気持ちをもつようになった：75.7% (同38.6%)
- 育休中(復職まで)
 - ・健康のためや不調の兆しを捉えてのセルフケアを心がけるようになった：92.0% (同60.6%)
 - ・「育休中に復職後の自分の価値を高めることをしよう」という気持ちになった：77.3% (同52.6%)
 - ・家事や育児を一人で抱え込まず必要に応じて人に委ねられるようになった：86.9% (同73.7%)
 - ・近所に家族以外で子育てなどを助け合える仲間ができた：70.4% (同46.9%)
- 復帰後
 - ・限られた時間のなかで、うまく他のメンバーのリソース(時間や能力)も活かしながら、成果を上げることができるようになった：75.2% (同62.5%)
 - ・パートナーとの協力体制が築けていると感じる：87.0% (同79.5%)

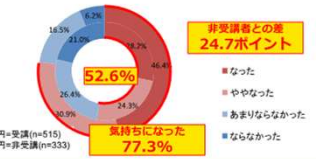
※「変わらない(もともとよい状態だった)」という選択肢を設けた問いはその選択肢の回答者を母数から除いて比率を算出

Q「パートナーを「本当に愛している」と実感するようになったか？」



非受講者との差 **39.6ポイント**

Q「育休中に復職後の自分の価値を高めるようなことをしよう」という気持ちになりましたか？」



非受講者との差 **24.7ポイント**

【本件についてのお問合せ先】
NPO法人マドレボニータ事務局 法人営業担当：太田智子(おたとともこ)
〒150-0013東京都渋谷区恵比寿1-15-9 シルク恵比寿403 TEL:090-8340-3765 / MAIL:info@madrebonita.com

公式ブログ

2017年4月19日 水曜日

育休中の「取り組む産後ケア」が「よりよい復職」に必要な力をもたらす～マドレボニータの「社会的インパクトレポート」公開～

NPO法人マドレボニータは、2016年7月から2017年3月まで実施された内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」に、社会的インパクト評価を自ら実践してみる社会的企業3法人の1つとして参加しました。

このほど、その評価結果がまとまり、「インパクトレポート」として内閣府にて公表されました。今回はその概要をご報告したいと思います。

評価目的・手順・結果の詳細はインパクトレポートをぜひご覧くださいね！

企業向け営業資料

御社の復職支援、「復職後から」になっていませんか？
【産育休中】からの支援が有効です
社会的インパクト評価にて実証

内閣府委託
調査事業で
明らかに
なりました

↓

産育休中にマドレボニータの
「産後ケア教室」を受講

↓

産育休中から復職後にかけて
復職に良い影響をもたらす変化

38項目中32項目で非受講者との統計的優位差を確認

良い変化があった人の比率を非受講者で比較(抜粋)

初期
受講後

1-6:「産後クライシス」の解消
58.8%(19.2%***)

Q「パートナーを「本当に愛している」と実感するようになったか？」

非受講者との差 **39.6ポイント**

中間1
復職まで

2-1:心身のセルフマネジメント力獲得
92.0%(60.6%***)

Q「健康のためや不調の兆しを捉えてのセルフケアを心がけるようになったか？」

非受講者との差 **31.4ポイント**

中間1
復職まで

2-4:復職に向けてのマインドセットができる
77.3%(52.6%***)

Q「育休中に復職後の自分の価値を高めるようなことをしよう」という気持ちになりましたか？」

非受講者との差 **24.7ポイント**

中間2
復職後

3-8:パートナーとの協力体制確立
87.0%(79.5%**)

Q「パートナーとの協力体制が築けていると感じますか？」

非受講者との差 **7.5ポイント**

確認された「社会的インパクト」

- ・出産後にその人が抱える課題が解決され
- ・社会復帰に向けての意欲と応用可能な力を獲得し
- ・必要なアクションがとれるようになる

STEP1/教室受講後

解決
出産後に直面する喫緊の課題の解決ができる

STEP2/復職まで

変容
復職に向けての土台が作られる(意欲、行動)

STEP3/復職後

応用
復職後も人生にも活きる応用可能な力となる

望ましくない状況の人を減らす→リスクヘッジ、ボトムアップ

復職後ももちろん、人生にも**「応用可能な力」**を獲得

立ち返れる「基本」の軸

不安を乗り越える技術

陳腐化しないフレームワーク

詳細レポートを内閣府ホームページで公開しています
<https://www.npo-homepage.go.jp/uploads/h28-social-impact-chousa-report-06.pdf>

この評価は内閣府「社会的インパクト評価の実践による人材育成・組織運営力強化調査」の一環として実施されました。評価結果の詳細、受講者と導入企業へのインタビューをまとめたレポートはサイトから閲覧、ダウンロードできます。

効果が実証されたプログラムを復職支援施策に導入！
マドレボニータの法人向けプランをご活用ください

- ・直接的なケアが難しい産育休中からのサポートを実現
- ・全国約60箇所を受講：ベストタイミングに、自宅近くで
- ・当事者以外も巻き込む講座も好評

ご案内資料(PDF): <http://bit.ly/206C6V7>
お問い合わせ: info@madrebonita.com

(C) 2017 MadreBonita 特定非営利活動法人マドレボニータ

9

評価を行っての振り返り

- **「without比較」の威力**：「このフェーズにいった = インパクト」と測定しにくい事業モデルでは、without比較が有効な手段の一つ
- **「伴走」の重要性**：ノウハウ提供、スケジュール管理、壁打ち、励まし⇒普及のために必要な支援
- **知見の共有**：試行錯誤で必要以上にかかったプロセス、時間⇒圧縮可能（知見共有が普及のカギ）
- **今回の分析・評価にはまだ改善の余地あり**：個人にもたらされる変化がどう促進されるか？はわかったが、その集合体としての企業や社会の変化がどれだけ促進されるか？は…？